

アイヌやの発言

杉田氏が正当化

0720に投稿

北海道の杉田水脈衆院議員は「X（日ソイシタ）」に、アイヌ文化振興事業の関係者を「公金チュー」といふやうに国際的発言を正当化する趣意の短文を投稿した。民族差別だとする抗議の声に対し「公金チュー」ではなく「不正使用」と叫えば良かつたのか」と書き込んだ。

アイヌ文化振興事業を巡り、政府は15日の立憲民主党主催のヒアリングで「適正に執行され、不正経理はない」（内閣官房担当者）と説明し、杉田氏の主張を事実上否定している。

投稿で杉田氏は、事業への公金の使われ方に關し、過去の一時期に政府が不適切執行を認めた経緯に言及

及。「「Jのよつなし」としていた団体が解散もせず、いまだに補助金を受給している」ことが本当に不思議です」と記載。事業継続に疑問を呈した。その上で「新たな疑惑が出た時、誰が責任を取るのでしょうか」と今後に問題を起すことを前提にした主張を展開。「Jれも『差別』『ヘイ』になるのかな」とも述べ、ヘイトスピーチ扇動に反対する動きをけん制した。

また「アイヌ利権」は存在すると訴える元北海道議のユーチューブ動画を添付した。「アイヌ利権」は、アイヌに対する差別的表現として知られる。動画は、アイヌのほかにメディアや野党議員をあげつらう内容で、杉田氏は「みんなにご覽いただきた」と書き込んだ。